2026年11月16日

福岡国際マラソン2026

出場競技者各位

ワールドアスレティックス（WA）ロードレースラベル規程における
エリート競技者（ペースメーカー含む）の遵守事項について

本大会はWAロードレースラベル（エリートラベル）取得大会で、WAが定める規程（LABEL ROAD RACES REGULATIONS）を遵守する必要があります。違反があると、次回以降、大会のラベル認定を得られなくなる可能性があります。そのため出場するすべての競技者には規程を遵守いただく必要があります。
特に、着用するユニフォーム、その他衣類・アクセサリーおよびシューズに関する規程は、内容をご理解いただき規程の遵守をお願い申し上げます。

## １：ユニフォーム、その他アパレル・アクセサリーに関する規定

競技者が着用するユニフォーム、その他衣類・アクセサリーについてはWAラベルロードレース規定が適用されます。所属するクラブ名、スポンサー名の表示について下記の制限・規定が設けられています。
※所属クラブ名（会社名）を表示できるのは団体登録（５名以上）をしているクラブのみ、個人登録者の所属は都道府県陸協になりますので、個人のクラブ名（会社名）を表示することはできません。

**■競技会における広告および展示物に関する規程・競技用靴に関する規程は、日本陸連公式サイトでご確認ください。**

**2026年度の変更点（福岡国際マラソンはWA認証大会）**
**営利団体：実業団及びクラブチームは営利団体となる、下記の日本陸連「商標規程」ガイドラインを必ず参照してください。（非営利団体は学校のみ）**
**https://www.jaaf.or.jp/news/article/14995/**
**※ ガイドラインを参照**

（別紙参照／その他のアパレルについては【国内】とある部分は適用されず認められない）

## ２：シューズに関する規程

1) 競技者は、競技会において、最新の WA Approved Shoes List に掲載されているモデル以外のシューズは着用できません。
※こちらのリンク先で確認ください。 https://certcheck.worldathletics.org/FullList

2) 市販前の開発中シューズは、WA が認めた競技者が特定の競技会に限り着用することができます。着用する場合は、競技者が製造会社あるいは公認競技者代理人（AR）を通じて WA に申請し、承認を受けること。

3) カスタムされたシューズは競技者の負傷防止などの医療・安全目的に限られます。着用する場合は競技者が製造会社あるいは公認競技者代理人（AR）を通じて WA に申請し、承認を受けること。シューズへの加工、改造の他にカスタムインソールやヒールカップなどを追加する場合も規程上、WA の承認が必要です。

4) 規程に準じているシューズであるかが不明の場合、疑義が持たれる場合は、出走を止めることはしませんが、規程に準じていないシューズ、事前承認を得ていない開発中シューズやカスタムされたシューズであると発覚した際は、競技後に失格となります。

5) 招集所等におけるシューズチェックは行いません。競技者が着用しているシューズに疑義があれば審判長に報告し、審判長が認めればフィニッシュ後にシューズを確認します。

※競技後のシューズチェックについて
競技後のシューズチェックは、主催者・審判長が指定した競技者を対象に実施される場合があります。（上位入賞者、レースでの使用シューズに疑義がある競技者、好記録を達成した競技者など）
このシューズチェックでは、競技者が使用したシューズ（前後左右・ソール・シューズ内）、競技者本人とビブの写真撮影をし、ワールドアスレティックスに提出します。
世界記録が樹立された場合及び審判長が更にチェックが必要と判断した場合には、着用したシューズの現物を回収し、WA 指定検査機関で裁断検査されます。
シューズ回収の際は、Athlete’s Shoe Receipt Form に記入・署名していただきます。